

2025年度

ニチキッズ秋田はすぬま保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月14日（水）～2月13日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月20日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人一人の気持ちを受容し寄り添い、子どもの気持ちを汲み取ることの大切さを園内研修で話し合い、全職員が同じ姿勢に立ち、保育園作りをしていくようにした。
子どもの発達援助	子どもの発達段階や特性を正確に把握し、個々に合わせた保育・配慮を心掛けた。一人一人に対して適切な対応ができているか、全員で振り返る機会を持つよう取り組んだ。
保護者に対する支援	保護者とのコミュニケーションを円滑に行い、子どもの成長を互いに共有し、積極的な関わりを持つようにした。その中で信頼関係の構築に繋がるよう取り組んだ。
保育を支える組織的基盤	週一回のミーティングや会議において保育の振り返りを行い、職員間の情報共有・連携・共通理解を図るよう努めた。 また、園内研修を通して業務マニュアルについて理解を深め、保育の質の向上に繋がるよう取り組んだ。

総評
子どもが安心・安全に日々過ごせるよう丁寧な保育と保護者との信頼関係の構築に尽力した。 子どもの主体性を意識した関わりを心掛け、気持ちに寄り添った保育、一人一人の月齢・特性に応じた保育を行ってきた。全職員が、「子どもにとって何が最善か」を常に考えながら保育に取り組めるよう、日々のミーティングでの振り返りを大切に、全員で意識を高めた。引き続き来年度も様々な場面においての「気付き」を皆で共有し、子どもたちがのびのびおもいっきり活動を楽しめるよう取り組んでいきたい。